

令和7年度仙台市図書館運営方針・事業計画

1 運営方針

「仙台市図書館振興計画 2022」に基づき、資料を収集・整理・保存し、市民の利用に供することはもとより、学校・家庭・地域と連携した子ども読書活動の推進、図書館を利用しにくい方々へのアウトリーチ型の事業の充実を図る。また、近年の感染症のまん延等を契機とした新たなニーズに対応するため、従来の紙を媒体とする図書の充実と併せ、オンラインサービスを推進し、来館型・非来館型それぞれの長所を適切に取り入れた図書館サービスを提供する。

地域や市民の様々な課題解決を支援しながら、本を通して心を支え、市民一人ひとりの生涯にわたる主体的学びに役立ち、共に成長を続ける図書館をめざす。

2 めざす図書館像と実現に向けた4つの方向性

めざす図書館像「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」

方向性1 地域の創造性を継承・発展させるとともに、市民の課題解決や探求的活動を支援する地域・市民に役立つ図書館をめざします。

方向性2 子どもの年齢や障害の有無に応じた図書館サービスを行う、0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館をめざします。

方向性3 誰もが使いやすく、どこに住んでいても情報が身近に届く、市民一人ひとりに利用しやすい図書館をめざします。

方向性4 図書館資源の適正配分と適切な評価を踏まえた経営を行う、自らの変革を進める図書館をめざします。

3 令和7年度の重点的な取組み

(1) 関係機関との連携による、地域の魅力の効果的な発信と市民の学びのサポート **方向性1**

関係機関との連携を進め、資料展示やイベント開催等、あらゆる世代が多様な資料と出会う機会の創出と、地域の魅力や様々な情報の効果的な発信に取り組むことで、市民の学びの場の充実を図る。

(2) 乳幼児からYA世代を対象とした読書に親しむ機会の提供 **方向性2**

ボランティアや学校等、多様な主体との連携により、絵本等を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりや、家読など家庭での読書活動を進めるほか、学校連携事業やYA世代の読書活動の取組みを推進する。

(3) 誰もが利用しやすい図書館サービスの推進 **方向性3**

移動図書館車の活用等によるアウトリーチ事業の拡充や、電子図書館の利用促進を図るとともに、年齢や障害の有無、言語の違い等にかかわらず、誰もが利用しやすい図書館サービスの推進と広報に取り組む。

(4) 図書館資源の活用及び職員の資質と専門性の向上 **方向性4**

成長を続ける図書館をめざし、図書館振興計画の中間見直し、指定管理者制度の活用、サービス向上に資する図書館システムの検討と施設の長寿命化に取り組む。また、研修等によりさらなる職員の資質と専門性の向上を図る。

4 事業計画

【方向性 1】地域や市民に役立つ図書館となるために

	施策項目	主な取組み内容
1	生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実	・あらゆる世代の学びを支える資料の収集・提供 ・本や情報と出会うきっかけとなる資料案内や各種ブックリストの発行と書棚づくり ・資料展示やイベントの開催等、あらゆる世代の市民が多様な資料と出会う機会の創出【重点】
2	課題解決に取り組む市民の学びをサポート	・SDGsに関する展示やイベントの開催 ・パスファインダー（調べ方ガイド）の配布・活用 ・窓口でのレファレンスサービスや、事例集の作成等によるレファレンス情報の提供 ・地域特性を生かした、市民や関係機関等との連携による事業の実施【重点】
3	地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献	・関係機関等と連携したイベントの開催等による地域の歴史や魅力の発掘と様々な情報の効果的な発信【重点】 ・東日本大震災に関する資料の継続的収集・活用 ・電子図書館による「震災文庫」の提供と広報
4	多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上	・大学等の教育機関との連携 ・インターンシップ受入や大学等への出前講座等による人材育成の支援 ・蔵書を持つ専門機関等の情報収集と案内 ・市民センター等の社会教育施設と連携した事業の実施やボランティア活動の推進

【方向性 2】0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

	施策項目	主な取組み内容
1	乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供	・妊娠期の親を対象としたイベントの開催 ・絵本を通した乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりの推進【重点】 ・ボランティアの育成と活動支援による読書活動の推進 ・幼稚園、保育園等での読書活動の支援
2	障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供	・特別支援学校等への貸出資料の充実、広報の促進 ・触る絵本やLLブック等のバリアフリー資料の貸出 ・配架の工夫や電子図書館の充実など、障害のある子どもが本に触れる環境の整備 ・手話付きおはなし会等、障害がある子どもも参加しやすいイベントの開催

	施策項目	主な取り組み内容
3	ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援	・図書館サポーター等、中高生が主体的に活動できる取り組みの推進【重点】 ・ホームページや SNS 等を活用した広報、学校と連携した広報の推進 ・YA向け資料の充実と魅力的なコーナーづくり ・YAを対象とした資料展示やリストの作成、イベントの開催
4	学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援	・学校における電子図書館の活用促進 ・市内小中学校でのブックトークの実施 ・学校貸出サービスによる読書活動・学習活動の支援 ・移動図書館を活用した学習活動の支援 ・小中高校1年生向け利用案内や読書通帳等の配布・配信による図書館利用の促進
5	家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくり	・アウトリーチ事業の実施等、家庭での読書習慣のきっかけづくりの推進 ・家読（うちどく）の魅力を伝える事業の推進【重点】 ・春・秋の読書フェスティバルの開催や読書スタンプラリー等、継続して読書に親しむ機会づくり ・体験型イベントを通じた子どもの居場所づくり ・子ども読書支援パックの内容の充実

【方向性 3】 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

	施策項目	主な取り組み内容
1	どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備	・分室・サービススポット・移動図書館の安定的な運営 ・移動図書館車を活用したアウトリーチ事業の実施【重点】 ・電子書籍の資料拡充と行政資料や震災関連資料、郷土ゆかりの作家の本の紹介等、地域の特色を生かした電子図書館の運営
2	あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進	・超高齢社会に即した資料の充実や事業の実施 ・移動図書館サービスの推進・広報 ・図書館に来館しなくてもサービスが利用できる電子図書館サービスの推進・広報【重点】 ・障害のある方や留学生等の外国人に向けたサービスの推進と広報【重点】
3	ICT 環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスの提供	・ホームページや SNS 等を活用した効果的な発信の強化 ・ICT 環境の進展を踏まえた図書館システム・サービスの検討

【方向性 4】 自らの変革を進める図書館となるために

	施策項目	主な取り組み内容
1	市民の財産としての資料の計画的収集・保存・活用	・利用者ニーズの変化に対応した資料の収集及び長期的視野に立った資料の収集・保存 ・電子書籍の資料拡充と行政資料や震災関連資料、郷土ゆかりの作家の本の紹介等、地域の特色を生かした電子図書館の運営（再掲）
2	めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを推進	・利用者自らがおすすめ本を紹介したりイベントに参画したりするなどの市民参加型事業の推進 ・地元企業等と連携した事業の推進 ・各種ボランティアの育成及び活躍の場の提供による、市民参加の推進 ・多様なボランティアとの協働による図書館運営・サービスの推進
3	図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用	・施設の長寿命化を目的とした大規模改修工事にかかる適切な対応【重点】 ・次期図書館システム刷新に向けた調査・検討【重点】 ・来館型サービス・非来館型サービスを両立させたサービスの提供 ・指定管理者制度の活用【重点】
4	サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を実施	・「仙台市図書館振興計画 2022」の中間見直しの実施【重点】 ・数値目標による評価方法の検討 ・アンケートや意見箱等の利用者ニーズを取り入れた運営とサービスの改善
5	図書館職員に求められる資質と専門性の向上	・キャリア別、領域別研修の計画的な実施等による職員のスキルアップ【重点】 ・OJTの実施や研修内容の共有等による職員間の知識や技術、経験の伝承 ・庁内の関連部署や関連機関と連携して事業を推進できる職員の育成